



中村忠行 議員

鳥獣被害対策は

【回答】熊出没対策マニュアルを策定

今年の鳥獣被害状況と対策は
 中村忠行議員 昨年は、ブナの実が豊作で子熊が多く生まれ、今年に入り熊の出没情報が多くなっている。今年もブナの実が不作とのことであり、今後も熊の出没が多いことが懸念される。現状と対策はどうか。

丹産業課長 熊の目撃情報は、26年度は20件、27年度は3件、28年度8月末では38件となっている。熊対策として、本年度「クマ出没対策マニュアル」を策定し、各小学校、有屋・明安地区の見守り隊にホイッスルと爆竹を配布した。また、広報お知らせ版8月号で注意喚起・予防方法の広報を行った。

産業課長 鳥獣被害防止対策実施隊は、被害防止計画に基づき鳥獣被害対策の実践的活動を担う組織である。消防団員同様の報酬や補償を条例で定めた上で任命する必要がある。また、鳥獣被害防止対策実施隊を組織す

中村議員 国の鳥獣被害防止法では、農水省の被害防止施策指針に則して市町村が被害防止計画を作成することにより各種支援があるが、**産業課長** 最上管内では、真室川町が計画を策定しておりハクビシンについて権限移譲されている。町ではイノシシやニホンジカが目撃情報があり、農林業への被害状況を把握し、今後対応していく。

状況と支援策は
中村議員 今年も県内でも人的被害も発生している。警察・消防・農林業団体・猟友会との連携が重要である。その為の被害防止計画策定及び鳥獣被害防止対策実施隊の設置状況



田茂沢地区での捕獲 (8/3)

産業課長 現在、猟友会の協力もあり有害鳥獣捕獲を円滑に実施している。将来的に担い手確保は重要課題と認識している。狩猟免許取得は「資格取得支援事業」の対象であり、

中村議員 中山間である当町では猟友会は欠かせない組織であり、銃の所持許可取得費用支援と後継者育成支援が必要ではないか。

産業課長 現在、猟友会の協力もあり有害鳥獣捕獲を円滑に実施している。将来的に担い手確保は重要課題と認識している。狩猟免許取得は「資格取得支援事業」の対象であり、

産業課長 林業後継者の装備の個人負担の詳細を確認し、全体的な林業後継者支援を考えた。鳥獣被害防止総合対策交付金の活用については、被害状況を把握しな



中村議員 山形県猟友会射撃センターへも町から支援している。猟友会の担い手については様々な形で支援について考えていく。

林業後継者支援策
中村議員 「金山杉」の登録商標を森林組合で出願しているが、町としてもブランドイメージを高める施策が必要ではないか。

産業課長 今回の出願は地域団体商標制度を活用したものであり、専用使用権を設定するものではない。金山杉ブランドを育成する事業に参加する企業や自治体も使用が可能であり、8月30日に「金山町木質資源利用拡大推進委員会」設立総会を開催し、森林認証取得支援や金山杉のPRを通し、ブランド推進を図っていく。

7名の議員が町政を問う



【一般質問とは】
 議員が最高責任者の所信を問うという立場で行うべきとされていることから、単に事務的なもの、計数を問うような質問は避けるべきとされています。

9月定例会の初日(9/7)に次の事項について一般質問が行われました。

- ◆ **中村 忠行 議員**……P11
 - ①鳥獣被害の予防及び林業振興について
 - ②鳥獣被害の対策について
- ◆ **須藤 典夫 議員**……P12
 - ①改正農業委員会法に期待できることを柿崎会長に聞く
 - ②テニスコート（中学校）の整備を
- ◆ **高橋 芳夫 議員**……P13
 - ①婚活支援のシステムの確立を
 - ②公共施設のメンテナンスについて
 - ③大規模農業基盤整備に対する町の対応は
- ◆ **高橋 浩樹 議員**……P14
 - ①公共施設等総合管理計画について
- ◆ **寒河江 宏一 議員**……P15
 - ①診療所の今後について
 - ②誘致企業と地元企業の現状と課題について
- ◆ **沼澤 道也 議員**……P16
 - ①今後の町づくりを公民館大会から考える
 - ②ふるさと納税の活かし方を考える
- ◆ **矢口 政一 議員**……P17
 - ①天災時の神室ダムは
 - ②最上広域の看護師養成機関設置は



※質問の順序は通告順となります。